

一般質問通告事項一覧

令和3年第4回定例会 No.1

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(1)	宮嶋 謙 【一問一答】	1. 旧小学校区ごとのコミュニティ施設と避難所の確保について	①志士庫地区住民から出された「旧志士庫小・体育館存続要望」について、どのように応える考えか伺います。	市長及び 担当部長
			②旧小学校区ごとに、避難所とコミュニティ施設が必要だと考えるが、市の意向を伺います。	
		2. 障害のある方や外出が困難な方に対するサポートについて	①軽自動車税の減免について、障害のある方の移動に使用する車両であれば、同居人名義の車も対象に含めるべきと考えるが、市の意向を伺います。	市長、 担当部長、 選挙管理委員会委員長及び 書記長
			②選挙の郵便投票が認められない外出困難者について、権利を行使できるようにサポートすべきと考えるが、市の意向を伺います。	
3. 市が進めようとしている複合交流拠点施設等整備計画の土地購入について	11億円の債務負担行為の前提とされた土地の鑑定評価について、その内容に大きな瑕疵が認められることから、その経緯と今後の対応を伺います。	市長及び 担当部長		

一般質問通告事項一覧

令和3年第4回定例会 No.2

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(2)	川村 成二 【一問一答】	1. 日本政府が掲げた「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」に対する本市の対応について	<p>①世界各地で発生している気候変動問題や東日本大震災を経験して、本市としても省エネルギーの推進が環境問題解決に効果的であるとの観点から、これまでに各種の取り組みを実施してきているものと考えます。現時点における本市の取り組み状況と効果の実績把握について伺う。</p> <p>②6月に開かれた国・地方脱炭素実現会議において「地域脱炭素ロードマップ」が決定されました。このロードマップは、2025年までに政策を総動員し、国も人材・情報・資金の面から、積極的に支援するとしており、特に2030年度までに集中して行う取り組み・施策を中心に、行程と具体策を示している。 地方自治体における「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明」は全国に広がり、茨城県では9月30日時点で27の自治体が表明している。 このような状況から鑑みると、本市はこの流れに乗り遅れていると心配する声が市民から寄せられている。 「ゼロカーボンシティ宣言」を表明する決断の時期に来ていると考えことから、市の考えを伺う。</p>	市長及び 担当部長
		2. GIGAスクール構想の現状と教職員の働き方改革の進捗について	<p>①小中学生の1人に1台のパソコンを整備することにより、多様化する学びのスタイルに対応するGIGAスクール構想が今年度からはじまり、新型コロナ対策のリモート学習にもタイムリーに対応されたと聞いている。 積極的にGIGAスクール構想の対応が進められているが、教育現場のICT化も含めて、現時点での課題や対策等について問題なく進められているのか伺う。</p> <p>②これまで学校における教職員の働き方改革につながる対策や改善を求めたところ、近隣市に比べ本市は積極的に対応されていることから、教職員からも評価する声が聞かれましたが、昨年から急拡大した新型コロナウイルス感染拡大による影響が2年近くに及んでいることから、教育や職場環境にも変化があると推測している。 現時点における教職員の働き方改革の実態と課題等について伺う。</p>	教育長及び 担当部長

一般質問通告事項一覧

令和3年第4回定例会 No.3

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	矢口 龍人 【一問一答】	一般廃棄物処理事業者への行政の対応理念について	①市長の代理で手足となって公共事業を進める職員を市長は守る責務があると思います。難題を立てる事業者や権力者に対して、どのように考えているか。また、この事実を認識していたのか。職務にあたる職員への幹部の対応について行政のトップである市長に伺う。	市長及び 担当部長
			②環境保全課への資料請求に対して「文書不存在」との回答が多数報告されました。文書不存在は、規程で定める義務違反です。行政事務の礎である文書事務（起案、報告等）及び法の執行者としての認識について伺う。	
			③排水の水質測定の内容及び不当支出（監査結果含む。）について、市民部長は「ゴルフ場の農薬検査などと同様な検査を行う」と答弁しましたが、結果は、安易な生活排水の検査です。議会での疑義は市長決裁案件であることは規程でも定められており、認識していないのか。内容の経過も含めて伺う。	
			④許可条件違反事項について、何ら解決も見いだせない最中に、市は令和3年3月30日に2年間の許可書を発行されました。質問事項も解決されないまま何を根拠に適正と認め許可したのか。許可後の方針など内部協議はしたのか伺う。	

一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

令和3年第4回定例会 No.4

通告 順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(4)	設楽 健夫 【一問一答】	1. コンプライアンスと 隠蔽ごまかし市政について	①平成25年第2回定例会議案第42号市長等政治倫理条例と議案第43号職員倫理条例の提案について伺う。	市長及び 担当部長
			②ワクチン接種状況と早期発見のPCR検査・病床確保、三密対策について伺う。	
			③筑波ハウス敷地産業廃棄物埋設を隠蔽しごまかす“違法2021.5.31「合意書」”について伺う。	
		2. 米価暴落対策—食糧 米の次期作コロナ持続化 給付金について	①令和元年度以降の市内のコシヒカリ（食糧米）、飼料米の作付面積について伺う。	市長及び 担当部長
			②対前々年コシヒカリ、飼料米の農家売り上げ実績対比について伺う。	
			③コロナ減収対策、食糧米の次期作コロナ持続化給付金について伺う。	
		3. 児童館及び幼保小連 携一貫教育について	①千代田地区児童館運営について伺う。	市長、教育長 及び担当部長
			②霞ヶ浦地区の児童館について伺う。	
			③学校教育と幼保未就学児教育についての基本方針と体制について伺う。	

一般質問通告事項一覧

令和3年第4回定例会 No.5

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(5)	佐藤 文雄 【一問一答】	1. スマートインターチェンジと6号バイパスについて	①スマートインターチェンジについて、問う。	市長及び担当部長
			②6号バイパスの現況について、問う。	
		2. 子育て支援について	①学校給食無料化について、問う。	市長、教育長及び担当部長
			②国民健康保険税における子どもの均等割をなくすことについて、問う。	

一般質問通告事項一覧

令和3年第4回定例会 No.6

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(6)	中根 光男 【一括方式】	1. ヤングケアラーについて	①ヤングケアラーの実態について伺います。	市長及び 担当部長
			②実態に即した効果的な支援策について伺います。	
			③今後の実態調査の実施について伺います。	
		2. 子どもの虐待について	①コロナ禍で虐待は、より潜在化し深刻になっていると懸念されますが、実態について伺います。	市長及び 担当部長
			②現在の対応状況と今後の取り組みについて伺います。	
		3. 行政のデジタル化について	①リモート対応型窓口のシステム導入により、市民は、本庁舎に足を運ばなくても、最寄りの支所や出張所等から、各種申請手続きや生活の困り事に関する相談が可能になります。 システム導入により、身近な窓口として利用できると考えますが、認識について伺います。	市長及び 担当部長
			②早期導入の検討について伺います。	

一般質問通告事項一覧

令和3年第4回定例会 No.7

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(7)	櫻井 健一 【一問一答】	1. 防災教育について	①地域での取り組みについて伺う。	市長、教育長 及び担当部長
			②教育現場での取り組みについて伺う。	
		2. 犬、猫、殺処分ゼロ への取り組みについて	①野犬等を発見した時の対処法について伺う。	市長及び 担当部長
			②犬、猫の避妊・去勢手術の補助金等について伺う。	

一般質問通告事項一覧

令和3年第4回定例会 No.8

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(8)	小倉 博 【一括方式】	1. 保育の現状と課題について	①多感な子ども達には、集団生活・社会生活に適応できるコミュニケーション能力を身につけ、高めることが大切です。本市の保育における基本理念について伺う。 ②市内保育所では、統一されているか伺う。	市長及び 担当部長
		2. スポーツの重要性について	コロナ禍の中で、スポーツ活動が休止状態になっている学校単位の運動部活動・地域単位のスポーツ活動の現状と今後の在り方について伺う。	
		3. 通学路の安全について	通学路に覆い被さる樹木の枝が多く見られます。車両が通過する際、枝を避けようとして、車線を変更するような所もあります。どのような対策をしているか伺う。	市長、教育長 及び担当部長

一般質問通告事項一覧

令和3年第4回定例会 No.9

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(9)	来栖 丈治 【一括方式】	1. 米余りによる米価の下落に対する支援策について	<p>①年明けからささやかれていた一俵1万円が現実のものとなり、稲作農家の経営意欲の低下は極端である。飼料用米の作付けも定着してきましたが、稲作農家の事業継続、水田や改良区の維持にも影響があり、何らかの対策が必要と考える。地産地消の呼びかけ、学校での米飯給食の回数増、米の加工品や販売、稲わらやもみ殻について、産官学連携での利活用研究で稲作農家の収入増を図っていくことが可能と考える。これらの政策提言への意欲、取り組み、進捗状況を伺う。</p> <p>②一ノ瀬上流土地改良のカメムシの空中散布を全地区に広げ、市が中心となり補助事業化して他の改良区に広げること。以前提案したレンコン被害の大きくなったジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）対策の空中散布事業化を支援するなど、時代にあった事業と考えるが検討結果を伺う。</p>	市長及び 担当部長
		2. 霞ヶ浦漁業での、エビ、ワカサギ、不良問題について	<p>漁業者の話によると、「エビが4分の1、ワカサギは2分の1の状況で、シラウオは例年並みで3月までは魚はいたと思う。外来魚を含む雑魚が多く取れ、漁協で買い上げている。漁師仲間ではレンコンの農薬が影響したのでは。」という。私の観察では、霞ヶ浦の堤脚水路には例年と変化はなかったため、古老の漁業関係者から話を伺うと、「5月に霞ヶ浦の縁の水が茶色に濁ったので水温上昇で不漁かなと感じた。」という。憶測の話は地域の分断につながりかねない問題であり、風評被害に発展する恐れもあるので、霞ヶ浦の水温や水質の変化の調査で原因究明や対策が求められると考える。漁業現場や霞ヶ浦問題において、調査研究や対策の状況について伺う。</p>	

一般質問通告事項一覧

令和3年第4回定例会 No.10

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(9)	来栖 丈治 【一括方式】	3. 外来生物等の駆除について（霞ヶ浦と周辺住民の生態系維持の考えから環境省との協議を提案）	<p>これまで訴えてきたように、ハクビシンやアライグマの被害は主に農業問題とのことで取り上げられたが、実際に市民生活まで影響している。また、水田ではジャンボタニシ、タウナギ、クサガメやミシシッピアカミミガメの被害が目立ってきた。霞ヶ浦は、魚が約60種類生息しその約半分が外来魚で、特にアメリカナマズ（チャンネルキャットフィッシュ）は、漁業への影響は大きく15年前から茨城県がアメリカナマズ駆除を継続しているほどである。霞ヶ浦周辺で暮らす農業漁業者、土着の生活者にとって、霞ヶ浦周辺や霞ヶ浦の生態系維持については以前から叫ばれている。そのため、霞ヶ浦の水質に加え、生態系維持の観点から外来生物等を駆除することの事業化を提案し、また、政策実現に向けた環境省との協議について伺う。</p>	市長及び 担当部長
		4. 地域の未来予想図づくりについて（地方創生のモデル事業として提案）	<p>人口減少、少子高齢化、空家対策、農地荒廃と平地林の管理問題、気象異常による防災への不安、移動や買い物の問題など、私たちの生活には新型コロナウイルス感染症の陰に隠れた様々な問題がある。そのため、市民による市民のためのまちづくりを促進する目的で、集落や行政区、旧村などの範囲でワークショップ形式による（仮称）地域の未来予想図づくり（市民自身による10年、20年後の地域生活を予想し、描く活動）などを地方創生のモデル事業として実施してはどうか。国の言う自助、共助、公助といった役割分担、市長が目指す市民協働のまちづくりにもつながるこの提案の事業化について市長の考えを伺う。</p>	市長